

地域名(北白川)

幹事氏名 堀内寛昭

地域研修会開催報告書

開催年月日	平成29年7月11日(水)		
開催会場	京都市立北白川小学校 ふれあいサロン		
出席者	保護司名	奥田美智子 伊藤恵子 佐藤恭子 高橋秀紀 堀内寛昭	計
	関係団体名とその人数	左京北地区更女4 少年補導委員3 防犯推進委員3 PTA5 北白川児童館1 地域団体(民生児童・見守り隊・町連・保健協)9	29名
テーマ	講演:「少年の問題行動を考える」 <講師>松本和文氏(京都市立北白川小学校 校長)		
研修内容	<p>(1)いじめが発生する要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 優位性の確保⇒他人より優位でいたいという心理 ● 異質の排除⇒違いをあぶり出し、攻撃する⇒自分たちと異なるものを排除しようという集団心理⇒自分たちと違うものは集団にとって脅威に映る ● ストレスの解消⇒攻撃することでストレスの解消 ● 「ノリ」⇒見えない序列やランキング <p>(2)行為選択の判断基準「事実と真実は違う」</p> <p>加害者であって被害者⇒動機・心情・背景に踏み込む関わり⇒見逃しのない観察⇒児童・生徒の何を観察するのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 表情を観る⇒元気がない・表情が乏しい・目線を合わせない・目つきが鋭くなる・疲れた表情 ● 感情を観る⇒イライラしている・感情爆発する・感情の起伏が激しい・無反応 ● 態度や行動を観る⇒遅刻や早退・おどおどする・他人の顔色を気にする・家に帰りたがらない・食べるように食べる ● 身体・身なりを観る⇒やけどの跡(根性焼き)・頭髪の変化・ピアスや化粧 <p>(3)手遅れのない対応(こころの通った指導)</p> <p>初期対応⇒事実確認は情景がつかめるように、いつ・どこで・誰から(誰に対して)何をしているときに、何をされたのか(何をしたのか)、その後どうした</p> <p>(4)リフレーミング</p> <p>物事を観る枠組み(フレーム)を切り替えて別のフレームで見方を変える(リフレーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お前は意思が弱い=状況に合わせて対応できる ● お前は何でもあきっぱい=決めたら即行動する、見極めがうまい ● お前は優柔不断=自分の気持ちに素直で納得するまで慎重に物事を進める <p>☆講師からのメッセージとして</p> <p>欠点や弱点のない人間はいない。誰の心の中にも弱さや醜さがある。 同時に人間はその弱さと醜さを克服したいと願う心をもっている。 誘惑に負けて易きに流れてしまったとき、「しまった！」と思う心の揺れが良心なのではないだろうか。その良心の声に耳を傾け、人間としてより良く生きようとするところを大切にしたい。(中学生の道徳(どう解く)「一冊のノート」より)</p> <p>公共広告機構 CM 「命は大切だ」「命を大切に」 “そんなこと何千、何万回言われるより「あなたが大切だ」—誰かがそう言ってくれたらそれだけで生きていける。”</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 集会活動 ● 拠点啓発活動 ● その他 		
		(講師作成資料より抜粋)	